

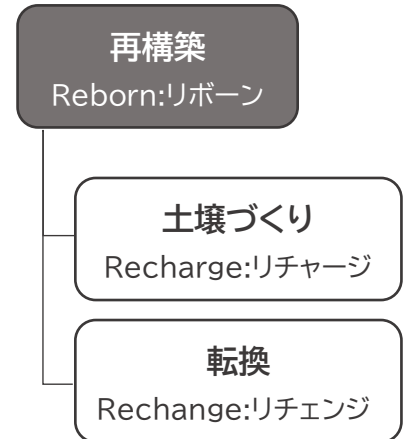
21' いいだ環境プラン第5次改訂版 **要約版**

21' いいだ環境プラン第5次改訂にあたって ……P.1~4

■位置づけ 2021年(R3)から2024年(R6)まで ……P.1

【テーマ】新時代に向けた再構築

2021年から2024年までの4年間は、“2050年、飯田は日本一住みたいまちになる”に向けて「環境文化都市」の「再構築」(Reborn:リボーン)という新たなステージの期間とします。そのために「環境の飯田市」として特徴づけてきた長所を、より市民全体のものとする「土壌づくり」(Recharge:リチャージ)の期間であり、様々なリスクを成長へ変える「転換」(Rechange:リチェンジ)による新たな発想と行動が生まれる期間とします。



■リニア時代「環境文化都市」が輝きを増す ……P.2,3

- リニアがもたらす大きなインパクトに対して、「環境文化都市」というブレない軸を持つ
- 「環境文化都市」実現はSDGs実現
- 国の第五次環境基本計画で提唱された「地域循環共生圏」の手法を取り入れる
- 「環境文化都市」は、飯田市から生まれたまちづくりの像であり世界に通じるもの
- 「環境文化都市」飯田は、環境モデル都市を標榜し地球環境の問題に取り組む
- 「いいだ未来デザイン2028」の下で21' いいだ環境プランを策定し「環境文化都市」に向かう

■第5次に込めた思い ……P.3

これまでのあり方では立ち行かない場面に多々直面している状況の中で、これを乗り越えていくためには、先人の歩みを見つめなおし、それを手掛かりに自らの手で勇気をもって、生活様式や社会経済システムを持続可能なものに転換していかなければなりません。

そして、これからの環境への取組は、我慢や忍耐に立脚するものではなく、むしろ環境をテコにしながらか、新たな発想と行動力により、「くらし」や「なりわい」、そして「まち」を持続的で、よりよいものに変えていくという能動的な「いとなみ」と言えます。

市民、地域住民、事業者、行政職員である私たちは、これまでの歩みをさらに進め、「結い」と「ムトスの心」、「自治の基盤」を原動力に、外からの知見も積極的に呼び込みながら環境文化都市を再構築していきます。

■第5次改訂で改めて見直すポイント ……P.3, 4

- 意識の共有
- 行動の変容
- 主体間の協働

■期待される効果 ……P.4

- 生活スタイルそのものが「地域価値」を生み出す
- 人・モノ・財を呼び込む
- 環境問題と社会、経済的課題の同時解決し、社会全体への貢献とする

I 21'いいだ環境プランの基本事項 ……P.5～7

II 21'いいだ環境プラン第5次改訂の構成(体系図) ……P.8, 9



Ⅲ 目指すゴールとその取り組み ……P.10～34



■場面別取組事例 ……P.30～34

本プランの組み立てに際して心がけたこと

- ① 道徳、倫理観を大切にしながらも経済的要素を取り入れた
- ② 実践に結びつく環境学習の機会を数多くつくり出すようにした
- ③ 事実と証拠に基づき、論理的な組み立てとなるよう心がけた

工夫③
より市民の行動を喚起
するため、くらしの場面
別に取組事例を示した

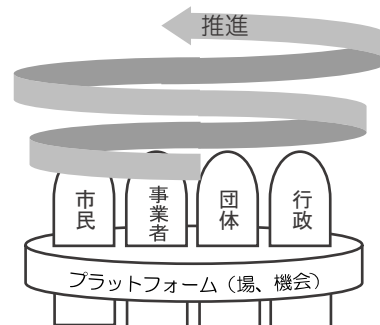
IV 推進体制と進行管理 ……P.35

■本プランの推進体制

- ・参画者の多様性の確保
- ・多様な主体の結びつきを生む「機会」であり「場」となるプラットフォームの設定

■本プランの進行管理

- ・「いいだ未来デザイン 2028」及び環境マネジメントシステムと連動させることで、自己評価とともに議会、市民による意見や助言を反映していく
- ・毎年度、環境レポートを作成、公表しながら、課題の整理や新たな発見を通じ、次年度の取組に生かす
- ・各年齢層において行われる環境学習の機会も進行管理に活用する



V 現代の環境問題を取り巻く状況 ……P.36～43

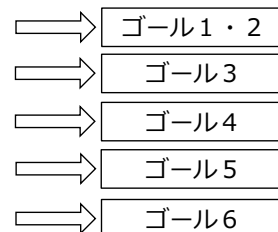
■生活環境の保全と良好な景観形成 ……P.38,39

■循環型社会 ……P.39,40

■生物多様性への保全 ……P.40,41

■気候変動 ……P.41～43

■環境学習の推進、環境人材の育成と活躍の場の創出 ……P.43



VI 第5次改訂で考慮すべきこと ……P.44～48

■2050年ゼロカーボンについて ……P.48

※ゼロカーボン達成に向けた飯田市の考え方を明記

資料編 ……P.資1～資48

■21' いいだ環境プラン第5次改訂の経過 ……P.資47, 資48

- ・有識者、市民インタビュー 39名
- ・環境審議会 5回
- ・環境審議会における部会 8回開催
- ・再エネ審査会 2回
- ・飯田市議会総務委員会協議会(原案説明) 12月10日
- ・パブリックコメント 12月15日～1月20日
- ・環境審議会(答申) 2月1日
- ・飯田市議会全員協議会(報告) 2月19日